

# 情報掲示板

お得な招待や日々の暮らしに役立つ情報など

## 震災で大阪に引越してきたママ 一緒にイベントをつくりましょう！ ボランティアスタッフ大募集！

大阪の歴史ある四天王寺さんで、11月3日(いよいよお産の日)に「いのち紡ぐ わたしたち」vol.3を開催いたします。小さい子を連れた女性(ママ)達が中心でつくる手作りイベントです。境内のブース「おかあちゃん食堂」で一緒に料理をしたり、おしゃべりしたりしましょう！

**打ち合せ日：** 毎週水曜日13時～16時 (変更あり) 毎回参加できなくてもOK 子連れでOK

**打ち合せ場所：** 四天王寺近辺

**内容：** イベントの企画や販売メニューを決め、当日みんなで楽しく運営します。他には、明日の暮らしブース、お手当て広場、産婆ハウス、学びの広場、講演会、子ども広場など企画予定中。

**担当者より：** 普段はそれぞれが地元でボランティアをしている女性(ママ)たちです。打ち合わせしながら、無駄話も多く...と、ゆるい感じですのでお気軽にご参加ください。

**申込・問合せ**  
電話・FAX: 06-6716-5510  
E-mail: marukoroko@yahoo.co.jp  
いのちの根っこ奥田まで お気軽にご連絡ください！

## 夏休み☆OH! お笑い塾 「弁天喜劇(きげき)」でワッハッハ〜ッ!

喜劇ってオモシロイ!才能とか経験とか関係ナシ!人を笑わせたい、自分も元気になる!とにかく舞台上に立ちたい!そんな子どもたちあつまれ〜♪♪ 喜劇はコミュニケーションとチームワーク、キズナも深まる一石三鳥!一人でも誰とでも参加大歓迎!待ってるよ〜♪

**日程：** ①8月17日(金)②8月22日(水)③8月23日(木)④8月24日(金)⑤8月25日(土) 各13:00~15:00  
⑥8月26日(日) 13:00~リハーサル 15:00~発表会

(「弁天町親子ふれあい夏まつり」にて)

**講師：** 砂川一茂 (市民喜劇の指導をされている放送作家さんです)

**参加費：** 無料

**対象：** 小・中学生(ご家族での参加大歓迎!)

**定員：** 5組10人まで(先着順)

**申込方法：** ①電話 ②FAX ③来館 (※「IMONIKAI」を見たと言ってね)  
電話: 06-6577-1430  
FAX: 06-6577-1433

**会場・主催：** 大阪市立弁天町市民学習センター 大阪市港区弁天1-2-2-700 オーク2番街7階  
JR環状線「弁天町」北口、又は地下鉄中央線「弁天町」西口②A出口から、ともにオーク200方面へ(約200m)

## 音と遊ぶ・音で作る・音を発見するワークショップ 大友良英 子どもオーケストラのご案内

大阪で3回目となる「集団即興オーケストラ」のためのワークショップです。簡単なルールと指揮者の指示にしたがって思い思いに音を出し、その日限りのアンサンブルをつくります。前回参加した人、してない人もぜひ参加してみてください! 最終日には大阪市立大学が開催する「こども熱帯音楽祭 in 大阪」の舞台上で発表します。

**日程・場所：** 2回のワークショップと発表会の、あわせて3日間の日程となります。詳細は同封のチラシをご覧ください。

**講師(指揮)：** 大友良英(音楽家)

**対象：** 小学3年生から高校生まで 一部の日程にしか参加できなくてもOKです! ※小学2年生以下の子どもや大人の方の参加も相談に応じます

**持ち物：** 得意な楽器がある子は持ってきてください。楽器のない子はこちらでも準備しています。

**応募方法：** お電話、メールにてお申込みを受け付けます。メールの場合は、件名に「子どもオーケストラ参加希望」と記載の上、参加者氏名、楽器名(楽器の有無)、年齢(学年)、性別、ご住所、お電話番号、メールアドレスをお知らせください。

**申込・問合せ**  
ブレーカープロジェクト実行委員会事務局  
Tel: 070-5046-8667 (11:00~19:00)  
E-mail: breakerproject2011@gmail.com

## 東日本大震災で被災され、関西でお住まいの皆様へ 第二弾 海を楽しもう!元気爽快体験キャンプ2012

海に行こう。もっと元気になる。仲間を増やそう。初めてでも、泳げなくても、ひとり参加でも、大丈夫。昨年度に続き、経験豊かな海のインストラクターや頼れるリーダーが、懇切丁寧な指導・サポートいたします。歌声と笑顔が溢れるプログラムが満杯。愉快な仲間や友だちとずっと一緒に楽しめる。とっておきのキャンプ。海と遊ぼう。仲間と騒ごう。みんなで感動しよう。もっと元気に、もっと笑顔輝かせて。是非ご参加下さい。

\*詳しくは同封の募集要項チラシをご覧ください。

**日程：** A 2012年8月15日(水)~16日(木) B 2012年8月23日(木)~24日(金) 全日程とも1泊2日

**場所：** 和歌山県日高郡由良町 白崎海洋公園 (JR大阪駅集合・解散/送迎バス)

**参加費：** お一人様 19,800円(税込) (現地集合・現地解散の方は17,800円 税込)

**対象者：** 東日本大震災で被災され、関西に移り住まれた小学生~中学生

**定員：** 各30名(最小実行人数 15名以上)

**申込締切日：** 2012年8月4日(土)

**連絡先**  
特定非営利活動法人(NPO法人) オーシャンゲートジャパン 「東日本元気復興プロジェクト」事務局  
Tel / Fax: 06-6212-6277 E-mail: oceangate@fancy.ocn.ne.jp  
URL: http://www.oceangatejapan.com  
主催: NPO法人 オーシャンゲートジャパン  
協力: 財団法人由良町観光公社(白崎海洋公園)・ストロベリーファーム白崎

## 東北 X 関西交流クッキング みんなでたこ焼き!パーティー

関西といえば...粉もん! 粉もん代表の「たこ焼き」を一緒につくって、食べて、楽しませんか! つるつる冷たいところてん、ひんやりあま〜い「ひやしあめ」も手づくりいただきます☆東北から関西へ避難されている方々と関西の皆様さんで、おいしい!楽しい!ひとときを過ごしましょう!

**日時：** 9月8日(土) 11:00~15:00

**場所：** 大阪市立子育ている相談センター 北区天神橋6丁目4番20号 地下鉄「天神橋筋六丁目」駅 3号出口直結

**講師：** 一般社団法人健康栄養支援センター 西川 侑里子(管理栄養士)

**参加費：** 無料(親子ペアでの参加が可能です)

**対象：** 東日本大震災により大阪市内に避難されている方

**定員：** 20人 (申込多数の場合は先着順とさせていただきます)

**締切：** 8月17日(金)

**申込・問合せ**  
大阪市ボランティア情報センター(修田・満洲)  
☎06-6765-4041

## 小学生対象 夏休みアウトドアチャレンジ

岸和田市を中心に活動しているボランティアグループ「ビスケット」が、岸和田市ボランティアセンターと協力して、夏休みに地元の子どもたちと一緒に野外でおもしろい楽しい企画をしました。子どもたち、ひとりひとりが、かけがえのない主役となるイベントです。高校生・大学生のお兄ちゃん・お姉ちゃんスタッフやアウトドアが得意なスタッフが参加をお待ちしています。

**日時：** 8月26日(日) 13:00~21:00

**活動場所：** 大阪市立信太山青少年野外活動センター

**集合・解散：** JR阪和線 信太山駅前 ※お車での参加ご希望の方はお申込み時にお伝えください。

**内容：** 野外レクリエーション、かまどでカレー作り、キャンプファイヤー など

**参加対象：** 小学1~6年生(先着15人) ※子どものみの参加も大歓迎です。(保護者の方が送迎をお願いします) ※子どもたちとスタッフのグループで活動します。 ※保護者の方は子どもたちの活動を見守っていただきます。

**参加費：** 小学生 無料 保護者 500円

**締切：** 8月19日(日)

**申込・問合せ**  
岸和田市ボランティアセンター(青山・花野)  
☎072-430-3366

※お申込み後、詳しいスケジュールや持ち物、地図等の詳細を郵送いたします。

**編集後記**  
もうすっかり夏ですね! 毎日暑いですが、皆様お体には気をつけてください。夏と言えばお祭り!大阪では大きなお祭りがたくさんあります。今年は岸和田のだんじり祭りを観てみたいと思っています! 修田翔

**ご質問、ご連絡等は...**  
IMONIKAIバックナンバーもお送りできますのでご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター  
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内  
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618  
《利用時間》  
月~金曜 9:30~20:30 土曜 9:30~17:00  
《休館日》  
日曜・祝日・国民の休日及び年末年始(12月29日~1月3日)  
E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

東北と大阪を繋ぐ情報紙  
IMONIKAI  
いもにかい

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
大阪市ボランティア情報センター  
住所: 〒543-0021  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センター内  
電話番号: 06-6765-4041  
FAX: 06-6765-5618  
協力 大阪弁護士会  
大阪市各区社会福祉協議会

## ふるさとに想いを馳せる交流会 開催のお知らせ

お盆に当たる8月中旬、北区社会福祉協議会と共催で大阪市内に避難されている方のミニ交流会を開催します。里帰りのご予定のない方など、お買い物ついでにふらっと、どうぞお気軽にお越しください! 3日間、お好きな時間にご利用ください。



**日程：** 8月13日(月) 各10:30~16:00  
8月14日(火) お好きな時間にお越しください  
8月15日(水) ※昼食は各自ご用意ください

**場所：** 大阪市北区社会福祉協議会  
北区在宅サービスセンターいきいきネット(北区神山町15-11)

**申込：** お電話またはEメールにてお申込みください。Eメールでのお申込みには、お名前、参加人数をご明記ください。  
☎: 06-6765-4041 (担当: 修田)  
E-mail: vicpc01@osakacity-vnet.or.jp

◎お子様連れももちろん大歓迎! 夏休みの宿題もどうぞ!  
◎大阪弁護士会より弁護士さんも来られます。法律相談もお気軽に。(相談時間: 13:00~15:00)



**アクセス**  
☆地下鉄「中崎町」3番出口  
☆地下鉄「扇町」2番出口  
☆JR大阪環状線「天満」駅

## 交流会 Cafe IMONIKAI を開催します

大阪市ボランティア情報センターでは、8月より毎月定期的に、県外避難者の交流会『Cafe IMONIKAI』を開催いたします。皆様の交流の場に、情報交換の場に、様々にお使いいただければと思います。特別な何かをご用意しているわけではございませんが、皆様と「一緒に作っていく」交流会を目指していきたいと思っておりますので、ふるってご参加ください!



昨年の12月に開催したCafe IMONIKAIの様子。当日は23人の方にお越しいただき、楽しい時間を思い思いに過ごしていただきました。定期的に集まることができる「憩いの場」にしていけたらと思っています。

**8月開催分のご案内**  
**日時：** 8月29日(水) 10:00~15:00 ※昼食は各自ご用意ください  
**場所：** 大阪市立社会福祉センター(天王寺区東高津町12-10) 地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」11番出口  
**申込：** お電話またはEメールにてお申込みください。Eメールでのお申込みには、お名前、参加人数をご明記ください。  
☎: 06-6765-4041 (担当: 修田)  
E-mail: vicpc01@osakacity-vnet.or.jp

**今後の日程(予定)**  
毎月第4水曜日の開催を予定しています。  
8月29日(水)  
9月26日(水)  
10月24日(水)  
11月28日(水)  
12月26日(水)  
1月23日(水)  
2月27日(水)  
3月27日(水)

# 大阪でのエピソード、聞かせてください。

東日本大震災から1年4ヶ月、現在も大阪で避難生活を送られている方に、ある程度時間が経った今、改めて大阪に来てからの出来事や、思うことなどを振りかえっていただきました。

今回は、7月から大阪市北区社会福祉協議会の職員にもなられた、福島県郡山市からお越しの森松明希子さんにお話を伺いました。

## 避難生活1年を迎えて… ～大阪での1年～

私は、福島県郡山市から昨年のゴールデンウィーク明けに、大阪に避難してきました。家族は、夫と、現在4歳4ヶ月の息子、1歳8ヶ月になる娘の4人家族です。大阪へは母子3人だけで避難して来ており、夫は今もひとり、福島に残って私たち妻の為に働いてくれています。

被災した福島の家は、給水タンクの破損により全部屋が水に浸かり、とても住める状況ではなくなりました。震災発生から約1ヶ月の間、一家で避難所暮らしも経験しました。私達は震災で自宅と家財道具のすべてを失ってしまいました。そして、震災直後の原発事故による放射能汚染が深刻で、福島での生活再建をすることができず、やむをえず家族バラバラの福島・大阪の二重生活をする道を選びました。それが昨年5月のことです。

大阪に避難してきてちょうど1年が経とうとしていますが、まだ夢の中にいるようで、早く地に足の着いた生活を送りたいと切に願っているのですが、やはり、この二重生活が自分の中では様々な負担となっているようで、なかなか落ち着いた生活、震災前の普通の日常を取り戻すには至っていません。幼い息子と娘の健康を考えて決意した二重生活ですが想像以上に厳しい避難生活が続いています。二重世帯の維持(家賃、光熱費の2重払い)と夫が幼い子どもたちに会いに来る為の移動交通費がかさんで、経済的負担が家計を圧迫しています。また、おそらく相当長期に渡ってこの生活が続くと考えると、子どもの精神面での影響が心配で、本当に福島を出て来て良かったのかしら…とこの1年、何度悩んだかしれません。

お父さんが好きな息子を引き離してしまったのは本当に正しかったのか?まだ震災当時、生後5ヶ月だった娘はほぼ父親を知らないで育ってしまって今後の父娘関係に影響は出ないだろうか?なによりも、家族の為にたったひとりで福島に残って子どもの寝顔さえ毎日見る事が出来ない生活をしている夫の精神状態は本当に大丈夫なのだろうか?震災以降、親子共々、心も身体も休まるどころがありませんでした。



お料理交流会で恵方巻きを作る森松さん親子。デザートのみかんゼリーはお子さんの大好物でした。

震災から1年を振り返る3.11from KANSAIの交流会にもお越しいただき、また沢山の繋がりをつけていただきました。



それでも避難して丸一年が経ち、本当に徐々にですが、この現状を受け入れ、前を向いて歩いていこうとはしています。震災から一年以上経過し、公的支援もどんどん打ち切られていく中で、「現状を受け入れるしかない」ということもちろんありますが、関西に避難して今まで母子3人で何とかやってこられたのは、いまだ被災者、避難者の事を忘れず心にとどめて下さっている方々がいてくださるおかげです。どのような支援も、本当にありがたく、感謝するばかりです。

特にありがたかった支援としては、日々の生活を送るのがやっとなりで、外遊びが大好きな子どもたちを、休日でもどこかに連れて行ってあげるなど全く出来ませんでした。そのような中、大学生のボランティアのお兄さんやお姉さんが子供たちと遊んでくれるという企画などは、親子共々、心底ありがたかったです。また、夏にはキャンプなどに子ども達を招待していただきました。せっかく放射能の心配のない大阪に来たのに、キャンプや川遊びなどは赤ん坊を抱えた私ひとりではさせてあげられないので、本当にありがたく思います。日々の生活を回すのが精一杯で、子どもたちにはあまり構ってあげられないのが可哀想で、心苦しく思っていたのですが、皆様のお力をお借りして、また、たくさんの方々に子どもたちとふれあっていただけたら、それが母子避難をしている私たち親子にとって、なによりの一番望んでいる支援となります。

他にも、引越しても男手がなく大きな家具を運搬することもままならない状況に、社会福祉協議会の方が手を貸してくださったり、引越し荷物の片付けなどをする間、赤ちゃんの面倒を地域の保育ボランティアの方が見てくださったり…と、本当に様々な方々に様々な方法で、色々とお助けいただきました。関西で受けたご支援には、本当に感謝してもし足りないくらいで、なんとお礼を申し上げて良いかわからないくらいです。

また、社協の方が届けてくださる被災者向けの情報紙「IMO NIKAI」で、被災者・避難者の交流会があることも知ってからは、そちらに参加させていただき、苦労や悩みを分かち合うことができ、それが私の心の拠り所、心の支えとなっています。交流会で、同じ境遇の被災者、避難者の方たちと出会って、自分だけではないのだということを知り、ともすれば孤立し、誰にも相談できない悩みなどを聞いてもらったり、また話したりすることで、どれだけ救われているかしれません。そんな交流会を企画して下さいましたし、これからも乗り越えて行かなければならないと思っています。

心ある方々や、ボランティアの方、地域の方々の温かいお気持ちや、お心遣いに支えられて、日々私達親子は暮らしていただけることに、心の底からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。(森松 明希子)

# 福島県へ行ってきました。

6月28日から3日ほど、私、修田翔は一時帰宅のため、震災後初めて福島県の自宅へ行ってきました。大阪からはるばる750km、ふるさとの様子はどのようになっているか、この目で確かめてきました。

自家用車で北陸道を通るルートのため、大阪府・京都府・滋賀県・福井県・石川県・富山県・新潟県を経由して福島県に入ります。これだけの都道府県を通らなくてはならないことに改めて距離を感じましたが、それよりも「道は繋がっているんだな」ということを実感しました。



楳葉町にある警戒区域の検問。



津波の被害が生々しい富岡駅前。

自宅のある富岡町を目指すため、警戒区域に入ります。中はあの懐かしい双葉郡の街並みです。地震で陥没した道路や一部津波の被害を受けた所はありますが、記憶の中と変わらない風景が広がっていました。

自宅に到着すると、まず目についたのは、雑草が伸び放題になっていた庭です。タンポポやアジサイが咲き乱れ、また野草に混ざって母の植えた花たちも綺麗に咲いていました。道中の田んぼも草原のようになっていて、人間の手が入らない分自然は生き活きとしているようでした。



庭は雑草で覆われていました。



落ちたまま片付けられていない食器。

家の中は地震で散らかった跡がそのまま、時間が止まっていた時計などもそのままです。ただ、長く人が入らない状態が続いているせいか徐々に家が荒れてきています。揺れで剥がれた壁のクロス、破れている障子など、空き家のようになっている家を見るのは辛いものがありました。

また、福島県内に住んでいる親戚にも久しぶりに会うことができました。一緒に住んでいた祖母は現在は伯父の家に住んでおり、元気な様子を見ることができました。

福島県は相変わらずのどかで、澄みきった青空はまさに「ほんとの空がある」という言葉にふさわしい地です。しかし目には見えない放射能被害が福島県に影を落としていることも、親戚との話や現地の報道などでうかがい知ることができました。これから福島県がどうなっていくのか、先が見えない部分が多いですが、とにかくふるさとから目を逸らさずになりたいと思いました。(修田 翔)



御年87歳のばあちゃんと2ショット。最近僕の名前も忘れ気味…。(涙)

## 大阪府下避難者支援団体等連絡協議会 第1回定例会が開催されました

本年度5月に発足した、東日本大震災によって大阪府内で避難生活を送っている被災者の方々の生活支援を行なっている団体や、避難当事者による団体の連絡会「大阪府下避難者支援団体等連絡協議会」の第1回の定例会が、7月13日(金)に大阪弁護士会館(大阪市北区)において開催されました。



会の前半では、避難当事者団体の3人の方から現在の避難者の皆さんが置かれている状況や課題について報告があり、それぞれの報告に関連して、さまざまな意見が出されました。後半では、特に「住まい」と「就労」にテーマをしぼって、参加者全体で活発な意見交換が行われました。

当日は48団体・74人の方が参加されました。多くの団体が行ってきた支援について現状を共有し合い、避難者の方々により有意義な支援を提供できるよう、このような機会を大切にしていきたいです。

次回は9月20日(木)に開催予定となっています。

## 読者投稿企画!

### 大阪の“きになる”ところを集めよう!

皆様、大阪に住んでみていかがでしょうか。八百八橋といわれるくらい本当に川と橋が多かったり、高層ビルが並ぶ都会があればすぐ裏に昔ながらの住宅があったり、坂が少なく自転車でどこまでも行けたりなどなど、大阪はとても個性あふれる街です。こんな街に住んでいて、「これ、きになる」というものはありませんか?「きになる」風景やモノがあったら、写真に撮って投稿してください!根っからのなにわっ子である大阪市ボランティア情報センターのスタッフも「きになる」写真があったら、次号にて解説してくれるかも?どしどし応募ください!

応募: 携帯電話やパソコンからメールで送ってください E-mail: vicpc01@osakacity-vnet.or.jp

※面白い、すてきな写真は次号でご紹介したいと思います。(例)



中之島に突如現れた巨大アヒルちゃん!



近所のスーパーにて、こんなにたくさん種類があるの? エソースって